

中  
高

## 中高合同入学式

立山の桜が満開となった4月8日（火）、長崎東中学校第22回、長崎東高等学校第80回入学式が挙行されました。今年度は中学生120名、高校生282名の生徒が、希望に満ちた表情で新たな一歩を踏み出しました。式では、田川校長からの温かい歓迎の言葉や、新入生代表による力強い誓いの言葉が述べられ、会場は和やかな雰囲気になりました。これから始まる「ひがし」の学校生活で、新入生たちが多くの学びや出会いを重ね、自らの可能性を高めながら豊かに成長していくことを心より願っています。



よろしくお願ひします



### 令和7年度 新転任教職員

高校	田川 耕太郎（校長・地理） 水谷 綾子（公民） 吉田 健（化学） 松竹 勝也（保体）	永江 真（副校長・数学） 守 芙由子（英語） 秋元 瞳（国語）	広田 耕二（生物） 平田 亜由美（国語） 吉田 風音（世界史）
中学	江口 敬文（副校長・数学） 岩永 和彦（生物）	井手 克宏（数学）	津口 萌（保体）
事務	西田 拓哉（主任主事）	江頭 万紀子（主事）	

## 海外語学研修

3月25日（火）から4月2日（水）にかけて、中学2年生・高校1年生合わせて77名がカナダのバンクーバー・サレーにて語学研修を行いました。参加した生徒は主体的に英語を使用しようと熱心に色々な活動に取り組んでいました。特に、ブリティッシュコロンビア大学でのプレゼンテーションとディスカッション、リージェントクリスチャンアカデミーでの交流会では、実行委員の生徒を中心に自然な流れの中で英語を使用することができました。準備には2カ月程度かかりましたが、現地の学生とスムーズに交流できる姿を見て、自信をつけることができたと思います。また、研修が進むにつれて自分から”Thank you.”といえる生徒が増え、積極的にコミュニケーションをとる大切さや、自分の意見を述べる大切さを感じてくれたことと思います。



## 生徒支援部より

真新しい制服をまとった新入生を迎え、ひがしの1年が始まりました。生徒の皆さんには、クラスや学年、部活動の仲間と積極的に関わることで、早く環境に慣れてほしいと思います。

長崎東には、多様な才能と目標を抱く個性が集っています。自分と異なる他者を、自分にはない「才能の手本」として尊重し、積極的に見習ってみましょう。必ず自分の人間性が高まります。また、自分の弱みも強みも、この世に二つとしてない大切な個性です。

「ひがしはひとつ」、仲間と手を携えて、お互いの個性をよりよく伸ばしていくように生活してください。困り事や悩みがあれば、一人で抱え込まずに相談しましょう。

保護者等の皆様には、お子様の様子を見ていただき、気づきや悩みなどがあれば学校にご相談いただくようお願いいたします。本校にはスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーもおりますので、お子様や保護者等の相談に幅広く対応します。

## WWL 事業について



長崎東中高は、SGHの後継事業「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」において、文部科学省より拠点校に指定されています。「世界の平和と共生」に貢献するイノベティブなグローバル人材の育成を目指し、すべての生徒を対象に、先鋭的な教育活動を展開します。具体的には、国内外の大学・企業・官公庁・NPO等への多様なフィールドワークを展開し、質の高い深い学びを実践します。

～WWLとは？（文科省HPより）～

国際社会に貢献するイノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築するとともに、テーマ等を通じた高校生国際平和会議の開催や、高等学校のアドバンスト・ラーニング・ネットワーク（高度な学びのネットワーク）を形成する取組であり、全国で33校が指定されています。

中1

## 東志行

4月9日（水）から11日（金）までの3日間、東志行が行われました。学校生活についての説明や学級での委員・係決め、「東中であげたいこと」というテーマで書いた作文の発表など、真の東中生になるために熱心に取り組みました。10人で力を合わせて1つのボールをゴールまで運ぶ「パイプライン」では、出会ったばかりの級友と協力するために必要なことなどを楽しく学びました。また、3年生の先輩たちが東での生活について様々なことを優しく教えてくれました。中学校生活最初の1週間で緊張もあったと思いますが、元気に楽しく過ごすことができました。今後の一人ひとりの活躍が楽しみです。



高1

## 東志行

4月10日（木）から14日（月）までの3日間、東志行と呼ばれる新入生研修が行われました。副校長先生をはじめ多くの先生方からの講話を聞いたり、集団行動をしたりすることで東高生としての志を新たにしたいと思えます。また、スクールポリシーについての理解を深めるためのグループワークやクラス発表の準備を通してクラスの親睦も深まりました。準備時間が短い中、各クラスがスクールポリシーを踏まえたユーモアのある発表会になり、80回生の可能性を実感した次第です。まだまだ未熟な部分もありますが、東志行で学んだことを今後も継続していき、学年目標である「ちょうせん」をキーワードに学校生活を送ってくれることを期待しています。



## 主な行事 5月

## 校長より

日 曜	主な行事
1 木	海外研修報告会
2 金	授業参観・PTA（中2）
5 月	吹奏楽部定期演奏会
7 水	第1回PTA常任委員会 中高地区別集会
8 木	耳鼻科検診（中）
9 金	全校朝会・受納式
10 土	全統模試（高）
12 月	教育実習Ⅰ期（～30日） 花プランター作り①
13 火	ひがしチャレンジデー（高）
14 水	いじめ調査
15 木	眼科検診（中） 内科検診（高2）
16 金	内科検診（高3）
19 月	高総体前45分授業（～23日）
20 火	尿検査2次 学年PTA（高1）
21 水	Σ検査（高1） 歯科検診（高3）
22 木	内科検診（中2） 眼科検診（高1）
23 金	長崎東安全の日 平和フィールドワーク（中1）
24 土	連合音楽会
26 月	歯科検診（中2、中3-1・2）
28 水	尿検査2次予備日 高総体壮行式（高）
29 木	内科検診（中3） 振替休日（高）
30 金	授業参観・学年PTA（中3） 県高総体総合開会式（高）
31 土	高総体（高）（～6/3）

## 挑戦の春、「ひがし」に刻まれた新たな一歩

校長 田川 耕太郎

「ひがし」伝統の体育祭。今回は9月から4月に移行して初めての開催となりました。新年度がスタートして間もないにもかかわらず、当日のグラウンドには、歓声と笑顔があふれ、仲間と力を合わせる姿や、全力で演技や競技に臨む真剣な表情が、とても印象的でした。

体育祭は、単に競い合うだけの場ではありません。仲間とともに一つの目標に向かって努力し、互いを認め合い、高め合うことのできる、かけがえのない行事です。ブロック演技や応援合戦の練習の中では、悩んだ日もあったでしょう。意見の違いもあったかもしれません。しかし、そうした葛藤を一つひとつ乗り越えたからこそ、味わうことのできた達成感や感動は、忘れられない記憶となったことでしょう。

私たちが何かを共に作り上げるとき、意見の食い違いに直面することがあります。そのときこそ必要なのが「対話」です。劇作家の平田オリザ氏は、「対話的な精神」とは「異なる価値観を持った人と出会うことで、自分の意見が変わっていくことに喜びを見いだす態度」と述べています。互いに耳を傾け、対話を重ねることで、新たな発想が生まれ、より深い理解や絆が築かれていくのです。

中学生徒会長の木原郁弥君は、応援合戦について「みんなで協力し、二週間という短い期間で完成させた」と仲間をたたえ、高校生徒会長の中山友貴君は、「今日、新たな伝説が生まれる」と語り、「ピンチをチャンスに変える東の生徒なら、最高の体育祭にできる」と呼びかけました。私も、この「ひがし」は自由な発想とアイデアで新しいことにチャレンジする学校だと思っています。

この体育祭で得た経験や学びは、これからの学校生活はもちろん、やがて歩み出す社会の中でも、皆さんを力強く支えるはずです。仲間を思いやる心、困難を乗り越える力、そして最後まであきらめずにやり抜く意志。そのすべてが、皆さんの中にしっかりと根付いたことでしょう。

今回の体育祭によって、令和7年度は素晴らしいスタートを切ることができました。ここで得た絆や誇りを胸に、この「ひがし」がさらに素晴らしい学校となるよう、みんなで力を合わせていきましょう。